

1

(2 完答)

1 (記述題)
2 A イ
B エ
C ア

3 ア
4 エ
5 切りひらく

6 知識や精神
7 イ

8 失敗を
9 イ
10 ア
11 ウ

12 a 対象
b 助言
c 原動力

d 関心

2

(4・5・7 完答)

1 a 例
b 実
c 必死

2 やるわ
3 ウ
4 A エ
B ウ
C イ

5 赤胴
つて
6 イ
7 しよ
ない

8 ア
9 エ
10 きつとこの
11 ウ

1

宇宙にたずさわる仕事をした
いと、協力をしてくれ人との
出会いに恵まれたから。

(同意可)

配点	
1	12
2	1
各2点×	7 = 14点
1	1
	6点
その他	各4点×20 = 80点
	100点

1 「医師になってからも」で始まる段落で、宇宙への夢をあきらめなかった筆者がNASAでの研究にたずさわることができたなりゆきが例として示されていた。この部分から「夢をあきらめなかった／周りに伝え続けた」ことで「力添えをしてくれる人たちとの出会いに恵まれた／出会いを積み重ねた」の流れをおさえよう。

2 (A)は、誰も本気では信じてくれない↓それでも↓ずっと想い続けていた、という逆接のつながり。(B)は、いい続けてきた↓すると↓いろいろな人が力添えをしてくれた、という順接のつながり。(C)はNASAが『フロンティア精神』を実現する集団であることと「こどもたちに夢を与える集団」であることを並列させているので「そして」があてはまる。

3 線部の言葉の意味を考えることも大切だが、問いの指示に「ここでは」とあるので文章内での言葉や意味のつながりにも気を付けよう。直後で「積極的に表現すること」が対比されていることから、それと対照的な意味になると考えられる。

4 直前に「この本を書くこと」と書かれており、この本を書いたことがモヤモヤが晴れた直接の理由だと判断できる。この「モヤモヤ」は同じ段落にある『日本のこどもたちに、夢にあふれたメッセージを贈りたい!』という強い気持ち「から来たと考えられる」。

5 言葉の意味から答えを見つかることもできるが、「開拓していく」ものが「新しい領域」であることに気がつけば「未知の領域」をヒントに「切りひらいていく」が見つかる。これでは五字の指定に合わないのと同じ意味の言葉を五字で探せば答えが見つかる。

6 線⑤の直後の文で「バトンを渡すこと」を「知識や精神を引きつぐ」と言いかえていた。まずは前後の関係を考えよう。

7 線⑥の直前の段落で「こどもの教育は『時間』をこえるフロンティア」と書かれていたのでアカイが答えとなるが、アは「教育すること」ではなく「新しい意味を見つかること」が中心なのでここでの「開拓」とはいえない。

8 「NASAの活動」そのものではなく「活動を通して若い人たちに伝えたいこと」が問われていることに注意しよう。線部の「その活動」とは「時間のフロンティア」に関わる活動、つまり「こどもの『教育』についての活動をさしているが、この部分では伝えたいこととして「知識や精神」しか書かれていないので、同じくNASAの教育活動について書かれた(C)がある「NASAは、」ではじまる段落を参考にする。関連表現を意識的にたどるようにすると答えは見つかりやすい。

9 「地球のことを考えるには、地球を外からながめる視点がとても大切」なので「外から地球を見るトレーニングを積んでおきましょう」と書いてあった。つまり、「外から日本を見る」ことを積み重ねて「外から地球を見る視点」につなげようと言っているのでIIは「日本」、IVは「地球」と決まる。あとはそれぞれの「外」にあたるものが何かを考えればよい。

10 細かな表現一つにも筆者の気持ちや考えがにじみでてくるものである。宇宙に出ることを船旅にたとえることはよくある表現かもしれないが、やはりこの言葉から筆者の宇宙への強い思いが感じられる。

11 線⑨の意味が直前の「会いましょう」へ続いていることに気をつけよう。筆者は「宇宙から地球をながめながら会いましょう」と言っているのである。アにあるような地球の美しさについては本文ではふれられていない。

12 a「対象」・d「関心」には同音異義語があり、よく出題される。まちがえた場合には他の同音異義語との区別も確かめておこう。他でも同音異義語は書き取りによく出る分野である。日ごろからトレーニングを重ねて苦手意識をなくしておこう。b「助言」は直前にある「アドバイス」と同じ意味なのでこれがヒントになったかもしれない。漢字の書き取りでも文の流れに気をつけよう。c「原動力」は一字一字は簡単でも三字熟語となると思いうかばないかもしれない。日ごろの練習や身近な漢字に関心を持つことが大切である。

2 話し言葉に近い文体であるので倒置法のようになっていると多い文章であった。ここでも「きつと」は下の「と思ったの」ではなく、上の「(何でも)やるわ」に係っている。

3 線①の前に「何でもやるわ」とあるが、2の前にあるセリフにあるように「私」は「ケンタロウ」を調子に乗せてしつけをしたりお手伝いをやらせたりしようとしたのである。しつけやお手伝いにあたるウの「早くパジャマを着なさい」が正しい。
4 (A)は自分から店の人のところへ行く様子なのでエの「スタスタ」が入る。(B)は幼い子どもが座っている様子なのでウの「ちよこん(と)」が正しい。(C)はおかしくて笑っている様子なのでイの「クスクス」があてはまる。
5 赤胴鈴之助になりきるあまり本当の名前を呼ばれても返事をしないのである。

6 線④のすぐ後で「鈴之助」と呼ぶのはまだ平気な様子であるから、アニメの主人公とわかる名前を呼ぶことを恥ずかしく思っていることがわかる。エは「私」が好んで「赤胴鈴之助」を見ているわけではないのでまちがいである。

7 「いたしかたない」という言葉を知っていれば簡単だったが、知らなくてもスーパーの中で「赤胴鈴之助」と大声で呼ぶことをどう思っているかを探せば答えは見つかる。

8 「いい大人」とは「年にあった分別をもっているはずの大人」という意味である。

9 親の心配をよそにごっこを続ける息子にあきれているのである。同時に恥ずかしさをこらえて「赤胴鈴之助」とさげぶところや、このできごと全体から読みとれるおだやかな語り口から息子への愛情もおさえておきたい。

10 ここでの「ところが」は「いるはずなのに」という意味になる。どこにいるはずなのかと考えれば見つけやすかっただろう。また、戻すべき部分の前後が「事務所とかの椅子に：座ってる」↓「きつとこの時はまだ、自分が迷い子になったと気がついてなかった」となっており、流れがおかしいことにも、通読時に気づいてほしい。

11 問2と同じく、思いついたことをすぐに後からつけ足していくというのは話し言葉の大きな特徴である。この文章を読んでいるうちに、まるで友達や親戚のおばさんと話しているような気持ちになってきたのではないだろうか。